

観光立国の未来に向けて本学の教員が観光庁長官らと対談

アジア・オセアニア研究教育機構の田中俊徳准教授が、雑誌「月刊 経団連」の特集で、村田茂樹観光庁長官、菰田正信三井不動産会長（経団連観光委員会委員長）、作家として知られるアレックス・カー氏との座談会に登場しました。田中准教授は、学界を代表する立場で、新たに策定された第五次観光立国推進基本計画の評価や観光立国の未来ビジョンについて提言を行いました。座談会の様子は、下記リンクから閲覧が可能です。

https://www.keidanren.or.jp/journal/monthly/2026/08_zadankai.html

「月刊 経団連」は、日本経済団体連合会（経団連）が発行する機関誌であり、政界、産業界に大きな影響力を持ちます。経団連は2025年10月に提言「持続可能な観光立国の未来に向けて」を政府向けに取りまとめましたが、田中准教授は、その際にも経団連で講演を行うなど提言の策定に貢献しました。当時の講演概要は、「週刊 経団連タイムス」の下記リンクから閲覧が可能です。

https://www.keidanren.or.jp/journal/times/2025/1016_14.html

また、11月2日には、アジア・オセアニア研究教育機構が主催するAsia Weekのオープニングイベント「発見！九州の魅力と観光の未来」が開催されます。田中准教授がモデレーターを務め、JR九州の古宮洋二社長らを招いたクロストークも企画されています。Asia Weekの概要については、下記ホームページにて、随時アップデートされます。

<https://asiaweek.kyushu-u.ac.jp/ja>

特集 持続可能な観光立国の実現に向けて

座談会
Round-table Discussion



種家 純
＜司会＞
経団連観光委員会企画部長
ANAホールディングス常務
執行役員



田中俊徳
九州大学アジア・オセアニア研究教育
機構准教授



アレックス・カー
京都先端科学大学人文学部教授



村田茂樹
観光庁長官



菰田正信
経団連観光委員会副議長、観光委員長
三井不動産会長

**持続可能な
観光立国の実現に向けて**

2025年の訪日外国人旅行者数は約4288万人、その消費額は約9.5兆円と過去最高を更新するなど、わが国の観光は活気を呈している。その一方で、持続可能性の観点からは、わが国の観光産業は厳しい状況に直面しており、観光人の確保、食料・地産地消との連携を促す「オーバーツーリズム等の問題が各地で顕在化しつつある。

そこで本座談会では、2026年3月末に策定される観光立国推進基本計画（2026-2030年度）の策定されたところから、2030年をもちろむ観光立国を実現するための観光政策のあり方や具体的な施策等を語りながら議論する。